

研修報告書No. 9

生まれも育ちも東京である私にとって高知県の〇〇町立〇〇病院（以下〇〇病院とする）での研修はとても新鮮なものであった。

東京では大きな大学病院や市民病院、クリニックなどが歩いてすぐに見つかるような環境であるのに対して〇〇病院では近くに病院がなく診察に来るのが難しい人のために出張の診療所があるのには驚きました。診療所自体が昔の診療所をそのまま使っており、いかにも某有名なアニメ映画に出てきそうな雰囲気がありとても印象に残っています。また、訪問診療・介護では直接診察に來れないようなお年寄りのお宅に訪問し診察・処方などを行っているのを見学しました。その際に、あるお宅では薬の飲み忘れがあるとのこと家族の指摘がありどうしたらいいかということに対してすぐに対応したり、訪問先には上がっていないが気になるのでということで状態を確認しに行くなどいろいろと気を配っているんだなと思いました。

研修の一環で〇〇町にある〇〇診療所で研修した際に近くの病院とカルテを共有しており自分の診療所から送った患者の現在の状況が分かるようになっていました。インターネットの回線につながっており、患者情報の漏えいの危険もありますが、見ていた患者の状況が分かりかつどういった治療がされているのかがわかるというのはとてもいいと思いました。また〇〇診療所の訪問診療では 106 歳の女性にお会いした時、好物がフライドチキンと言われとても 100 歳を超えているとは思えませんでした。研修で見させていただいたお年寄り達を見ても 80、90 歳のお年寄りが多く、私が研修している大学病院ではあまりあったことがないくらいの年齢の層でなおかつ皆お元気になさってる人が多いと感じました。大学病院では主に急性期の治療をしており、リハビリに関してはベットサイドでのものや離床から軽い歩行までがメインであるのに対して〇〇病院では自宅に帰るためのリハビリを行っており、リハビリ室に家の中に似せた施設があり自宅で気を付けたり、家族がどういふ風に介護すればいいかも学べるようになっており良い勉強になりました。

〇〇病院では内科の先生は多くの範囲の科の知識が必要とされており専門的な知識以外にも皆勉強してると感じました。私の研修している大学病院には総合診療内科がありますがもっと総合的な診療をしているという印象を受けました。指導医として指導していただいた〇〇先生にいろいろな科の質問をしても的確な回答がいただけ驚きとともに感嘆いたしました。

今回研修させていただいた病院の先生、技師、スタッフの皆さんがとても優しく質問に対して丁寧に説明していただきとても分かりやすかったです。

大学病院では決して学べないようなことをいろいろと学ぶことができ自分にとっていい経験ができたと思います。この研修で学んだことを将来生かしていけるような診療をしていければと考えております。

最後に今回研修させていただくにあたってお世話になった先生や技師、スタッフの皆様本当にありがとうございました。